

平成30年度ネットいじめ等早期対応推進事業の実績報告について

学校安全・安心推進課

1 事業の目的

進展するネット社会における生徒指導上の諸問題、とりわけSNS上でのいじめ等への対策として、「通報窓口アプリ」を全県立高校及び全県立中学校に導入し、ネットいじめやネットトラブルに対する学校の取組を支援する。

2 事業概要

- (1) 対象校及び対象者数：全県立高校及び全県立中学校の約3万1千人を対象
- (2) 契約期間：平成30年4月1日から平成31年(2019年)3月31日まで
- (3) 導入したシステム：「いじめ匿名通報アプリ(キッズサイン)」(アディッシュ株式会社)
- (4) 事業の仕組み

委託事業者が通報内容を1日数回チェックし、即時通報内容は翌営業日まで、それ以外の通報は月次報告(翌月15日まで)として県教育委員会へ連絡

3 事業の結果

(1) 通報件数

	月次報告 (通報総数)	即時通報※2	内 訳 ※1				
			いじめ	悩み相談	不満	その他	いたづら
4月から8月までの計	812	651	33	6	51	549	12
9月から3月までの計	142	117	13	3	14	84	3
合計	954	768	46	9	65	633	15

※1 通報内訳の件数は、学校が精査した結果の数値

※2 被害者が特定され、いじめ等の状況が明確なもの。翌営業日までに県教育委員会へ連絡

(2) 中間報告以降(9月～3月)の通報状況

ア いじめ行為の13件のうち、本アプリ通報によって学校が知ったいじめ行為は11件で、その全てのいじめ行為が現在止んでいる。

<投稿内容の一部>

- ・Twitterの裏アカウントで自分の悪口を言われてハブられている。
- ・常に避けている、嫌がらせがある 特に最近状況がひどい。クラスメイトは皆彼らにビクビクして何も言い出せない。
- ・学級日誌に友達の悪口が書いてあった。

イ いじめに関することではなかったが、緊急通報1件への対応を行った。県警察の協力により、当該生徒の安全確保はもとより、当該生徒の保護者と学校が通報確認後2日目(通報確認が土曜日だったため月曜日)には面談することができ、学校及び家庭における丁寧な見守り等について確認し合うことができた。

ウ 不満の14件は、教師の指導方法や部活動の練習等についての不満であった。

エ 8月までの通報件数と比べ、9月以降の通報件数は大きく減少した。これは、特定の生徒からと思われる複数件の通報が止んだためである。

4 生徒アンケート分析結果

(1) 実施時期及び回答状況

- ・平成30年11月実施（悉皆調査）、回答者数28,362名（回答率98.0%）

(2) アンケート結果及びその後の対応・改善策

- 約5割の生徒が本アプリの導入で、「これまで以上に学校生活やネットコミュニケーションで人を傷つけないよう、気を付けようと思った。」と回答した。

⇒ 今後も、各学校には、本アプリ通報事例の中からいじめの未然防止や情報モラルの向上に繋がった事例を生徒集会等で説明するなど更なる効果的な活用を促していく。

- テスト送信をしなかった生徒が約7割で、その主な理由は「忘れていた」、「使うようなことはないだろうと考えたから」などであった。

⇒ いじめ等で誰にも相談できない状況におかれている生徒が、一人でも多く本アプリを活用できるよう、本アプリ導入の目的等について繰り返し生徒へ周知する。併せて学校には、本アプリ通報事例の中からいじめの未然防止や情報モラルの向上に繋がった事例を生徒集会等で説明するなど更なる効果的な活用を促していく。

5 本年度の改善点

- (1) 「いじめ匿名連絡サイト（スクールサイン）」のトップページに使い方の説明ページを新設し、通報ページへリンクできるように設計・改善した。また、使い方の説明ページには、使い方の説明と課題解決イメージを想起させるユーザーの声を例示した。
- (2) 通信端末のホーム画面へショートカットが保存できるように説明ページを追加した。
- (3) 緊急通報への対応について、県警察とも緊密に連携して緊急対応を行うこととした。
- (4) 「緊急性を要する内容」については、当該通報の投稿から24時間以内に委託事業者から県教育委員会へ報告するように契約した。